

2020年8月6日

各位

会社名 倉庫精練株式会社
代表者名 代表取締役社長 羽田 学
コード 3578 東証2部
問合せ先 総務課長 上田 紀昭
電話番号 076-249-3131

2021年3月期 連結業績予想に関するお知らせ

2020年5月13日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回発表予想(B)	1,700	△430	△350	△350	△245.69
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績(2020年3月期)	2,778	△245	△217	△130	△91.92

2. 業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測値に基づき連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

2021年3月期は、依然として新型コロナウイルス感染症の収束は見通せないものの、経済活動が再開されており、第3四半期以降は、消費及び生産活動が徐々に回復すると仮定しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻るには、1年程度を要するものとして、当社事業への影響を想定した連結業績予想を算定いたしました。

売上高に関しましては、受注の減少により前期比38.8%減の1,700百万円を見込んでおります。(ただし、前期実績には、連結子会社株式会社サンエス分140百万円含む。)

損益に関しましては、省エネ設備導入によるエネルギー効率アップ及びロスの削減等により、営業費用が前期比29.5%減の2,130百万円となる見込みですが、売上高の減少をカバーすることは困難であり、営業損失は430百万円、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失は350百万円を見込んでおります。

なお、上記見通しは、国内外の景気動向に加え、新型コロナウイルス感染症の収束時期や、影響範囲等など外的要因により大きく変動する可能性があり、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

3. 中期経営計画の修正について

当社は、2019年11月8日に公表いたしました中期経営計画の諸施策に全社一丸となって取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等によるマーケット変化に対応するため、中期経営計画を修正する必要が生じ、現在、鋭意精査を進めております。検討しております主な修正点といたしましては、以下のとおりです。

- ・黒字化定着のための抜本的な改革
- ・丸井織物との更なる連携強化と中長期成長戦略
- ・ROE向上など資本コストを意識した経営の徹底
- ・財務の健全性を維持し、客観的な監視を強化するために、適切な経営指標の導入

以上を取りまとめ、11月初旬予定の第2四半期の決算発表時には、中期経営計画の修正に関してご報告させていただく予定にしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以 上